

豊富な知識・経験者(MASV)による技術研修会 ～ 赤川砂防管内の工事現場で技術を伝承～



去る平成26年10月15日、“MASV”の技術研修会が赤川砂防出張所管内で行われました。

「MASV」とは…

最上川・赤川砂防ボランティア協会(Mogamigawa Akagawa Sabo Volunteer)の略称で、東北地方整備局新庄河川事務所管内において、土砂災害に関するボランティア活動を行い、土砂災害から地域住民の生命・財産を守り、地域住民の福祉に寄与することを目的に、平成11年2月に設立された団体です。

かつて新庄河川事務所に在籍して砂防・地すべり事業に携わり、土砂災害に関する知識や豊富な経験を有し、かつ、ボランティア精神を有する方々で構成されています。

当日は、台風19号通過後の天候に恵まれた中、知識の向上を図るために集まった協会員10名のほか、新庄河川事務所からも技術の伝承という観点より、職員5名が参加しました。

午前中は赤川砂防管内2カ所の工事現場を視察し、午後からは検討会が行われました。

岩菅沢第七砂防堰堤工事現場では、法面对策の状況や堤体基礎掘削状況を確認し、崩壊が進む斜面・溪流の対策方法や、堤体基礎の掘削形状等に関して助言をいただきました。

続いて、田麦俣地すべり全景を遠望したのち、地すべり対策工事箇所施工状況等を確認し、近接する斜面からの落石に対する安全対策や、地すべりからの排水用の横ボーリングの設計の考え方等の助言をいただきました。



岩菅第七砂防堰堤工事現場



田麦俣地すべり地区を遠望



田麦俣地すべり対策工事現場

国土交通省 新庄河川事務所

〒997-0404 鶴岡市下名川字落合227

TEL 0235-53-2841 FAX 0235-53-2807

赤川砂防出張所

HPアドレス <http://www.thr.mlit.go.jp/shinjiyou/>

詳しくは…

クリック!

あかがわさぼう

検索